

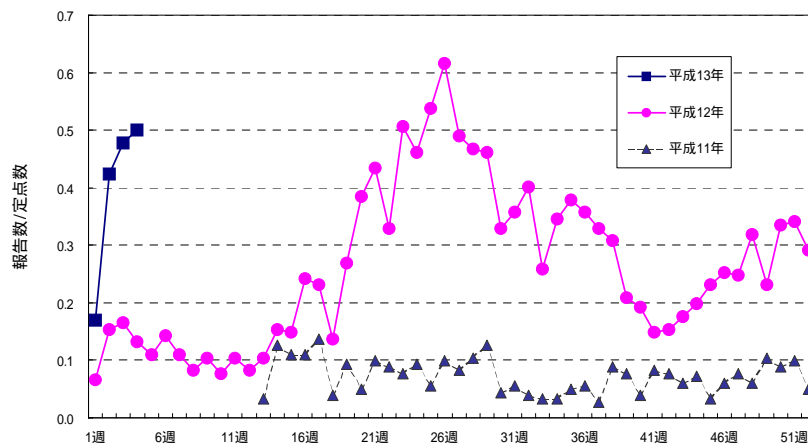
愛知県感染症情報

平成 13 年第 4 週（1 月第 4 週）

（コメント）

伝染性紅斑が流行しています。

感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎は報告数は減少しているものの依然流行中です。



伝染性紅斑(名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から)

（先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ インフルエンザは次第に小学生以上の年令に移行してきました。
M R S A 感染症 1 歳男
病原性大腸菌感染症（0-1 10 歳女，0-15、2 歳男）
マイコプラズマ肺炎（蛍光抗体法）8 名（1 歳女 2 名、3 歳女、4 歳女、5 歳女 2 名、5 歳男、36 歳女）
（尾西市 城後小児科）
- ・ 麻疹は同一家族の子供達です。
（一宮市 平谷小児科）
- ・ インフルエンザ Fl u A (+) 3 例あるも続発例は少い。シンメトレル（アマンタジン）著効
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）
- ・ インフルエンザなし。
（扶桑町 いずみ内科）
- ・ 水痘の流行が続いています。A 群溶連菌感染症が少し増加しています。インフルエンザは 2 歳男児 1 名のみでした。Fl u A (+)
（江南市 みやぐちこどもクリニック）

● 尾張東部地区

- ・ 感染性胃腸炎（ロタ陽性、10ヶ月女）がまた増加しました。
マイコプラズマ肺炎4名（2歳男、3歳男、4歳男、4歳女）。
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
- ・ 突発性発疹症、溶連菌感染症が目立ちましたが、インフルエンザは全く見られません。乳幼児、学童に嘔吐、下痢少し増えたようですが、昨年と比較して今回の1月は暇でした。ヘルペス歯肉炎口内炎1歳女児1例。
（尾張旭市 佐伯小児科医院）
- ・ インフルエンザ流行なし。感染症少ない。川崎病小流行。
（小牧市 小牧市民病院）
- ・ この冬初のインフルエンザ2例（A型迅速診断+）
（春日井市 朝宮こどもクリニック）
- ・ 嘔吐及下痢症の感染性胃腸炎が多数みられました。2歳の時に予防接種済みの9歳女児が弟よりうつされてムンプスに罹患しました。
（春日井市 かちがわ北病院）

● 西三河地区

- ・ ディレクティジェンFluA陽性（3歳男、8ヶ月女）2例A型インフルエンザ
病原性大腸菌（0-6 3歳男、0-86 4歳女、0-25 1歳男、0-1 4ヶ月男（腸重積にて血便あり））
ロタウイルス腸炎（9ヶ月 男児）
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
- ・ 病原性大腸菌0-18 1歳女
ロタウイルス感染症 1歳男
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ 病原性大腸菌0-1（+）、VT1・2（-）+カンピロバクター9歳女
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ 保育園の保母さんが麻疹（前週の患児の保育園の保母）
伝染性紅斑が多い
（知立市 宮谷こどもクリニック）
- ・ 溶連菌感染症が続いています。嘔吐症が少し増えてきました。
（西尾市 やすい小児科）
- ・ 水痘、感染性胃腸炎とも、まだかなり認められます。
（西尾市 山岸クリニック）
- ・ マイコプラズマ肺炎 5歳女
（三好町 三好町立三好病院）

(1～3 類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者 1 名。

- ・ 半田保健所から報告の 16 歳男。1/14 発病、1/16 初診、1/22 診定。
菌型は、O-157 VT2 (+)

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

発生はありません。

第 2 週 (平成 13 年 1 月 8 日～1 月 14 日) の 4 類感染症の全国状況
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が例年に比べかなり多くなって
おり、熊本県で定点当たり 4.4 の報告がある。咽頭結膜熱は冬季とし
ては例年になく定点当たり報告数が多くなっている。麻疹は例年の同
時期と比べ定点当たり報告数がかなり多く、とくに高知県、大分県、
福岡県、奈良県などで多くなっている。インフルエンザの活動性はま
だ低く、全国平均で定点当たり報告数 0.41 となっている。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)